

**製品名: Neuro D2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14602**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA                                |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | 48kDa  |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | NEUROD2  |
| 別名           | NEUROD2; BHLHA1; NDRF; Neurogenic differentiation factor 2; NeuroD2; Class A basic helix-loop-helix protein 1; bHLHa1; NeuroD-related factor; NDRF |
| 遺伝子 ID       | 4761.0   |
| SwissProt ID | Q15784   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト NDF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110  |

**背景**

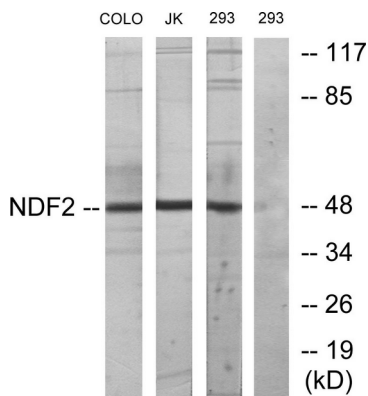
この遺伝子は、神経原性塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) タンパク質の neuroD ファミリーのメンバーをコードして

います。この遺伝子の発現は、Eボックスと呼ばれる特定の DNA 配列を含む GAP-43 プロモーターなどの神経特異的プロモーターからの転写を誘導します。ヒト遺伝子産物は、アフリカツメガエル胚の非神経細胞において神経原性分化を誘導することができ、神経細胞の運命決定と維持に役割を果たしていると考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 神経分化を媒介すると考えられています。類似性: 1つの塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを含みます。サブユニット: 効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要です。、

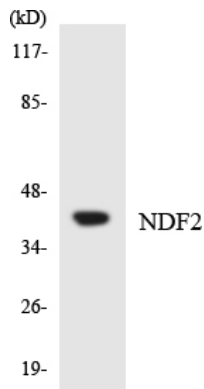
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; HLH/ロイシンジッパー; HLH; 神経科学; 神経プロセス; 神経発生; 幹細胞; 神経幹細胞; 細胞内

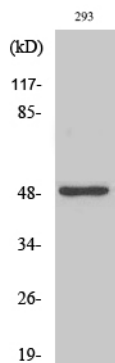
## 画像データ



NDF2 抗体を用いた 293 細胞、COLO 細胞、および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NDF2 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Neuro D2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。

